

第10章 運営・体制の整備の方向性と方法

第1節 運営・体制の整備の方向性

丸亀城跡の保存・活用・整備は、まちづくり、観光、教育、自然環境などに関連するため、関係部局間の連携を強化し、十分な検討・調整を図ることができる体制を確立し、事業の円滑な推進を図る。

今後、管理団体として史跡の適正な保存、管理、活用を図っていくためには、丸亀市教育委員会を含む市内部の体制の整備・強化に取り組むとともに、外部の学識経験者で構成された丸亀市史跡丸亀城跡調査整備委員会、文化庁、香川県教育委員会等の指導・助言を受けながら保存・活用に係る事業を進める。

また、さらに丸亀城跡が地域の誇りとなるよう、一般財団法人丸亀市観光協会、ボランティアガイドなどの民間団体と連携し、情報発信を図るとともに、行政と市民との協働を進めていく中で、人材育成を図る。

第2節 方法

第1項 行政の体制整備

史跡丸亀城跡の保存修理、整備、活用を進めていくために、文化財保存活用課を中心に、産業観光課や都市計画課、学校教育課等の庁内の関係課と連携して適切な保存と活用を図る。

特に、平成30年(2018)に大きく崩落した坤櫓跡周辺石垣の復旧に関しては、市の関係部局の連携を強化し、事業の円滑かつ効果的な実施のために設置した「丸亀城石垣崩落対策本部会」、市議会の「丸亀城復旧復興特別委員会」を中心に、オール丸亀市体制で取り組んでいく。

調査・研究や保存のための整備に関しては、大学等との積極的な連携を図り、最新で最適な方法で進め、城郭研究や整備において最先端を目指す。

第2項 市民等との協力体制の整備

丸亀城跡の保存・活用においては歴史や文化財に関する団体のみならず、多様な団体との連携を図っていく。特に活用面では観光案内所・売店を運営する一般財団法人丸亀市観光協会、観光案内所内のうちわ工房「竹」、ボランティアガイドを組織する丸亀市文化財観光案内会などとの協働の推進を図る。

企業・団体・個人から多額の寄附金が集められるなど、坤櫓周辺石垣の復旧を契機として、丸亀城跡が市民にとって欠かせない存在であることが再認識された。今後も現場説明会、石垣復旧イベントの開催など、積極的な市民参加を促しながら石垣復旧事業を推進することで、史跡丸亀城跡を核とした市民のシビックプライドの醸成を図る。

第3項 検討会議等の設置

本計画に基づく保存・管理、活用等にかかる事業の実施については、丸亀市史跡丸亀城跡調査整備委員会、文化庁、香川県教育委員会等の指導・助言のもと、効果的かつ円滑な事業の実施に努める。

なお、三の丸坤櫓跡、南西帯曲輪石垣の復旧に関しては、丸亀市史跡丸亀城跡調査整備委員会石垣復旧専門部会、天守の耐震対策については、同丸亀城天守耐震対策専門部会の指導・

助言のもと、文化財としての本質的価値の性質を理解しながら、効果的かつ円滑な復旧を目指し、必要な対策を講じる。

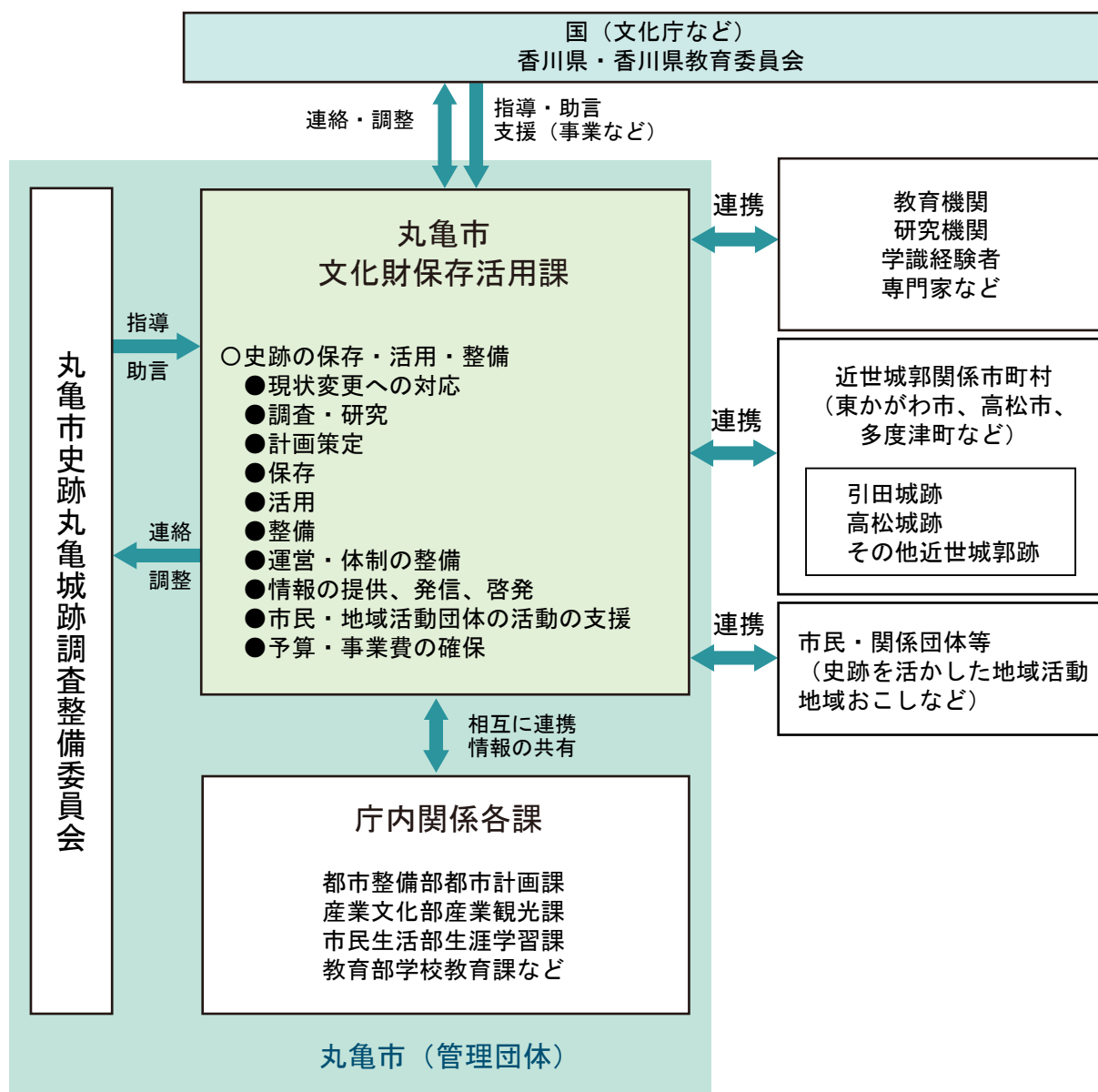


図 44 運営体制模式図